

平成23年5月15日（日）

近畿地方整備局、大阪府、大阪市の主催による平成23年度大和川水防・大阪府地域防災総合演習が、大和川右岸河川敷（藤井寺市川北地先）で実施されました。

演習の目的

災害時において、防災関係機関が有機的な連携を保ちつつ、災害応急対策を迅速かつ的確に実施できるよう、関係者の技術の習熟を図るとともに、洪水氾濫流の特性を踏まえた確実な避難行動を習得できるように、府民の防災意識の高揚に資することを目的としています。

33機関が参加



主な演習内容

局地的大雨による浸水被害を防ぐ訓練



地下施設（電気室）への浸水被害を防止するため、出入口に止水パネルを設置する訓練

張布工



洗掘対策として、堤防が壊れるのを防ぐ工法

月の輪工



漏水対策として、堤防から吹き出した水を安全に排出する工法

積み土のう工



越水対策として、堤防から川の水が溢れるのを防ぐ工法

避難訓練



市職員や警察官の誘導による住民（藤井寺市川北地区、柏原市大正地区）の避難訓練

情報伝達訓練



大和川河川事務所長と沿川市長（藤井寺市、柏原市）との情報伝達訓練

被災状況訓練



被災箇所等の状況をヘリにより調査する訓練

決壊した堤防を復旧する訓練



決壊した堤防を大型土のうで復旧する訓練